

B分科会 20名 (司会：百瀬 記録：丸山)

自己紹介のあと、話し合うテーマについて、挙手で ○天体観察会を開催していることが知られていない、○長野県は宇宙県の認知度が低い に決定。

観望会の周知には、地域の直前の広報やツイートが有効である。一方で、宇宙県やながてんの一括した情報提供も欲しい。

ターゲットは小学生と、その祖父母が良い。学校よりは、公民館など地域に呼びかけたい。

宇宙県には、観望会の目印となるゆるキャラやノボリ旗がほしい。

以下、詳細

参加者 20名

自己紹介

テーマ設定

街中：1 人材：0 周知：8 マナー：0 知名度：6

○各グループから、観望会の広報や実施状況を話してもらう。

・塩尻星の会

周知は市の広報によるところが大きい。年間スケジュールでHPにも載せられる。公民館主催で、市の天文台が主に使用される。星の会独自の観望会も行う。いずれも定着し、親子を中心に、晴れれば20-30人の参加がある。年間計画は、年度後半に印象が薄れる傾向がある。

・フォーマルハウト

広報はローカルな新聞が中心。口コミによる参加者も多い。駅前観望会では人通りの多いイベントとタイアップや合せると効果的か。

・カフェ風のいろ

年間計画を立て、インフォメーション欄に載せてもらう。観光協会からの情報もある。口コミなど、人の輪もできている。

・朝日村天文同好会

教育委員会や公民館が主体 告知は2日前からの直前の村内放送が有効。ローカルに絞って宇宙県にはエントリーしなかった。

・天平の森天文同好会（長峰山森林体験センター天平の森）

キャンプ参加者など、施設利用者が開催していれば集まってくる。参加者は10人くらい。実施は施設スケジュールによる。

・マナスル山荘

告知はHP キーワードで検索にかかりやすくする。町の観光課や県のHPとのつながりを持つ。コミュニティFMで紹介してもらおう。学校関係者も多いので、先生同士の口コミも広がっている。ラジオCMなど、安くて有効では。

○意見交換

ながてんHP：サイトに来てくれないことには、一般への宣伝にならない。

子供の関心：どこに行けば観望会があるのか知られていない。市町村が広げてもらえればと思う。中学生は忙しく、広報的なターゲットにはならない。小学生の学校カリキュラムに合わせた活動が良い。昼間の親子レクなどでもつながりができる。親の余裕がない、親が面倒くさがる。学校の依頼は減っている。学校より地域（児童会）に向けたほうが、集まる範囲がコンパクトでよい。情報発信：学校への個別のチラシ配布は、時に迷惑となっている（多い）。公民館単位など、まとまったものの方が良い。

通りすがり：まず、寄せること。ゆるキャラやノボリ旗など（宇宙県に依頼事項）。無料で誰でも参加できる（観られる）こともアピール。